

■ EGGX のローカルインストール

EGGX グラフィクスライブラリをローカルブート環境にインストールすることができます。

□ EGGX について

作者の山内さんの web にインストール手順などを含めた説明があります。

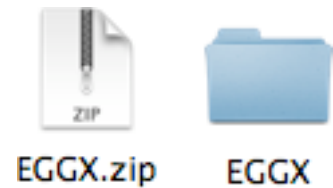
http://www.ir.isas.jaxa.jp/~cyamauch/eggx_procall/

講義資料の「C プログラミングガイド」の 9 章から EGGX の簡単なマニュアルがあります。

<http://y1b.jp/Cguide/>


□ 受講生用インストール手順

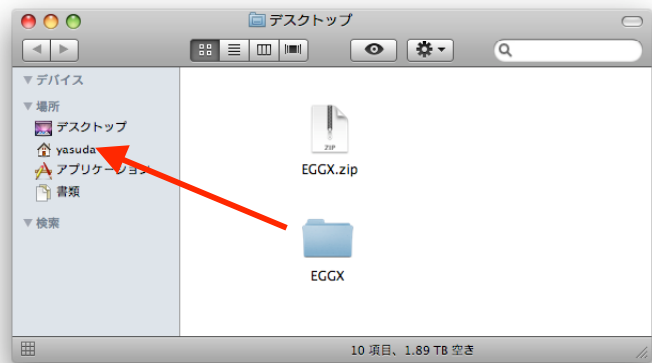
教材ページ(<http://y1b.jp/2008b/kisop2/>) の、「ローカルブート環境に EGGX をインストールする方法」にある EGGX.zip 圧縮ファイルをダウンロードしてください。



これをダブルクリックすると EGGX と名のついたフォルダが作成されます。(右図)

この EGGX フォルダを自分のホームディレクトリに置いてください。右図のように Finder のウィンドウを開いて、フォルダを家

のアイコン  にドラッグ&ドロップすれば良いでしょう。



次にターミナルを開いて、以下のように操作してください。このディレクトリの中に `cd` して、`setup.sh` プログラムを起動します。

```
$ cd EGGX
$ ./setup.sh
setup EGGX command path (to .profile file)
cp: .profile: No such file or directory (*このエラーメッセージは下を参照)
setup completed.
$
```

途中に現れる `cp` コマンドのエラーメッセージが出て問題ありません。最後の「`setup completed`」を確認してください。うまく行かない場合は先へ進まず講師に相談してください。

うまくインストールできれば、一度ターミナルを終了して、もう一度ターミナルを起動し直してから (ここ重要です) 動作確認をしましょう。以下のようにして何か EGGX 向けのサンプルプログラムをコンパイル、実行してください。

```
$ egg sample.c
gcc -O2 sample.c -I/Users/kougi/EGGX -L/Users/kougi/EGGX
-I/usr/X11R6/include -L/usr/X11R6/lib -leggx -lX11 -lm
$
```

うまく動作しなかった場合は講師に相談してください。